

情報通信審議会 情報通信技術分科会
放送システム委員会（第 6 6 回） 議事概要（案）

1 日時

平成 31 年 4 月 25 日（木） 10:30～11:25

2 場所

総務省 共用 1 0 階会議室

3 議題

- (1) 前回議事概要の確認について
- (2) 1.2/2.3GHz 帯 FPU 高度化作業班報告について
- (3) 放送システム委員会報告（案）について
- (4) その他

4 出席者（順不同、敬称略）

【構成員】伊丹主査（東京理科大学）、都竹主査代理（名城大学）、上園委員（日本ケーブルラボ）、後藤委員（N I C T）、関根委員（明治大学）、丹委員（北陸先端科学技術大学院大学）、松井委員（電波産業会）

【オブザーバー】大槻作業班主任代理（慶応義塾大学）、光山作業班構成員（NHK 放送技術研究所）

【事務局】情報流通行政局 放送技術課

5 配付資料

資料 6 6 - 1 放送システム委員会（第 65 回）議事概要（案）

資料 6 6 - 2 1.2/2.3GHz 帯 FPU 高度化作業班報告 概要

資料 6 6 - 3 1.2/2.3GHz 帯 FPU 高度化作業班報告

資料 6 6 - 4 放送システム委員会報告（案）

6 議事概要

議事次第に沿って検討が行われた。議事概要は以下のとおり。

(1) 前回議事概要の確認について

前回議事概要（案）（資料 66-1）が承認された。

(2) 1.2/2.3GHz 帯 FPU 高度化作業班報告について

1.2/2.3GHz 帯 FPU 高度化作業班報告について、大槻作業班主任代理から説明があり、報告内容が了承された。

主な質疑について、以下のとおり。

- 映像伝送用途ではドローンによるものとの干渉可能性はないのか。(村山委員)
- ドローン用途では、今回検討以外ものとして Wi-Fi や 5GHz 帯に専用周波数が手当されており、今回の検討において干渉の問題はない。(事務局)
- 時分割複信のサブフレーム長について、資料では例と説明されているが、別の組み合わせが想定されているのか。(上園委員)
- 移動時における伝搬情報のフィードバックは早く戻してやる必要があり、そのフレーム長を 2~3ms とすることが適当であることを研究開発段階において確認している。大きく変わることはないが、運用に適した組み合わせとして、今回の組み合わせ値とは別のもも検討される可能性があると考えている。(光山作業班構成員)
- 干渉対策として運用調整により共用可能とする方法がまとめられているが、使用者に対する周知など対応する主体が不明確のようにも思われるが、実際にどのような形で行われているのか。(松井委員)
- 関連して、この特定小電力無線は、具体的にどのような用途で使われ、どの程度普及しているの見込んでいるのか、わかる範囲で教授願いたい。(後藤委員)
- 概略に止まるが、港湾で使用されているクレーンの制御等で多く使用されている。普及の状況については、今、説明できる情報として持ち得ていない。(光山作業班構成員)
- 光山作業班構成員からご説明があったように、特定小電力無線局ではあるものの、利用状況の概略がわかっているため、それら製品を供給するメーカーや利用者に対して、1.2GHz 帯周波数が周波数の共用により使用されていることがこれまでも周知されている。また、FPU を運用する放送事業者も共用の状況を承知しており、干渉が想定されるような場所では、注意して運用することとなっている。(事務局)
- この周波数帯の利用として、今回のものは日本独自のものなのか。また、類似のものが海外から持ち込まれ、使われるようなことはないのか。(村山委員)
- 高度化 FPU は日本のシステムであり、他国で類似のものというのはいはあまり聞いたことはない。仮に同様のものがあつたとしても、日本に持ち込んでそのまま使うようなことは認められていないと思われる。(大槻作業班主任代理)
- 海外から持ち込まれる機器については、当該国では適法であっても、日本の規制に合わないものは使うことはできない。例えば、持ち込んだトランシーバーがそのまま使われて妨害が出たようなことは発生している。総務省では、スキー場等そういった事例が生じやすい場所での無線利用に対する周知や妨害が生じた場合に対する電波監視の実施、さらに違法使用者に対する適切な運用の指導を行っている。(事務局)

- 電波防護指針の離隔値について、固定や移動に対する計測形態、さらには適応送信においてどのような組み合わせを条件としているのか。(後藤構成員)
 - 電波防護指針の離隔距離は机上計算で算出されており、計測形態は考慮されていない。また、送信条件は、連続信号の状態で、複数アンテナ送信によるビームフォーミングゲイン6 dBを考慮して計算されている。(光山作業班構成員)
 - 最悪条件で確認されているものと承知した。(後藤委員)
 - ご確認のとおり。(光山作業班構成員)
- (3) 放送システム委員会報告(案)について
- 放送システム委員会報告(案)について、事務局から説明があり、合わせて、案が了承されれば、パブリックコメントの手続きを行いたい旨、提案がされた。
- 報告書(案)の内容及び報告書(案)をパブリックコメントの付すことについて、承認された。
- (4) その他について
- 事務局より次回の委員会の開催について、6月上旬を目途として、改めて、日程調整を行う旨の周知があった。
- (5) 閉会

以上